

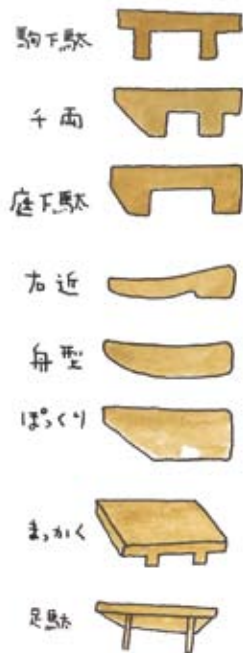
きもの豆知識

下駄について

ゆかたなど、夏の足元を彩る下駄。ひとくちに下駄といっても、その種類はさまざまあります。今回はさまざまな下駄の種類や上手な下駄の履き方などにスポットを当ててみたいと思います。

下駄のいろいろ

形によって雰囲気や履き心地などさまざまです。



下駄の魅力はさまざまな形と個性豊かな鼻緒との組み合わせ。最近では、台にすがっているものが一般的ですが、足にあわせてすげた下駄は履き心地も抜群です。下駄だけでなく和装の履物全般に言えることですが、1〜2センチほどかかとが出るのがジャストサイズといわれます。自分の好みの履き心地をオーダーメイドしてみたいはいかがでしょうか。

下駄の上手な履き方

下駄は歩き方の癖によって、内側もしくは外側が偏って磨り減ってしまいます。毎回左右を入れ替えて履くと片方だけ磨り減るのを防げます。

歌舞伎のススメ

～コクーン歌舞伎『四谷怪談』～

日に日に暑い日が増えてきた今日この頃。暑い夏を涼しく過ごすための日本の夏の風物詩といえば、怪談話などがあげられます。歌舞伎の演目でも『四谷怪談（よつやかいだん）』などが有名ですね。

江戸時代に鶴屋南北（つるやなんぼく）が書いた定番の演目で、毎年この季節になると上演されます。

この6月にも渋谷のシアターコクーンで『四谷怪談』が上演されます。従来の古典の歌舞伎ではなく、『コクーン歌舞伎』といって、古典歌舞伎の演目を新たな演出で上演する公演なのが特徴です。生粋の歌舞伎ファンにとっては少し違和感があるかもしれませんが、初心者にとっては見やすくてよいですね。

はじめは、1994年に十八代目中村勘三郎、三代目中村橋之助らが『東海道四谷怪談』を上演したのが始まりで、今回初演と同じく『四谷怪談』をテーマに上演されます。また、中村獅童、中村七之助、中村勘九郎、中村扇雀などスター性のある役者が多数出演するもの見所のひとつです。

余談ですが、このお話はお岩の悲しい運命だけでなく、お岩の妹、お袖の悲劇も描かれます。『四谷怪談』公演の前に恒例で、お岩様に関連する寺社への参拝し、舞台の安全と成功を祈願されたそうです。



かわちやの

着付教室 12回

1回1000円

かわちやの着付け教室ではそれぞれの目的やスケジュールにあわせたカリキュラムを組んでいきます。

お気軽にご相談ください。

お問い合わせは

TEL 0563-35-0039 大橋幸子まで

かわちやの
ワンポイント着付教室

1,000円

半巾帯の結び方など
ピンポイントでお教えします。
(2時間)

中日新聞・三河新報に掲載頂きました。



当店オリジナルの『西尾のお茶の小枝染め 白鷹お召』をメディアにご掲載頂きました。親戚でもある吉良家と上杉家のコラボの織物です。ご興味ある方は是非ご覧下さい。

着物クリーニング

何でも 汚れの種類や程度によって追加料金がかかる場合がございます。

2点7,560円

着たあとのお手入れは大切!

草木染講習会

日時 6月15日(水)

会費 1,000円+材料費

用意するもの：厚手のゴム手袋、エプロン



今回は庭のどくだみで染めようと思います。どんな色になるか想像しながら染めると楽しさが増します。

草履・下駄はありますか?

履物の調整

1足500円



イベント案内

夏のよそおい展

6月24日(木)～27日(月)

和装 ゆかた・夏着物・帯・げた

洋装 藍染めの服・ミスキョウコ靴